

松監事第25号  
令和7年8月20日

松本市寿財産区  
管理者 松本市長 臥雲 義尚 様

松本市監査委員 上 杉 陽 一  
同 竹 本 祐 子  
同 村 上 幸 雄

令和6年度松本市寿財産区特別会計決算審査意見について

地方自治法第233条第2項の規定により審査に付された、令和6年度松本市寿財産区特別会計歳入歳出決算とその附属書類を審査したので、次のとおり意見を提出します。

(注)

- 1 文中及び各表中の金額は、原則として円単位で表示しています。
- 2 文中及び各表中で用いる百分率は、原則として小数点以下第二位を四捨五入し、小数第一位で表示しています。したがって、合計と内訳の数値が一致しない場合があります。
- 3 各表中の符号の用法は、次のとおりです。  
「－」・・・該当数値のないもの、該当数値が算出できないもの等

## 令和6年度松本市寿財産区特別会計歳入歳出決算審査意見

### 第1 審査の対象

令和6年度松本市寿財産区特別会計歳入歳出決算

### 第2 審査の期間

令和7年6月16日から令和7年8月19日まで

### 第3 審査の方法

松本市監査基準に従って策定した決算等審査実施計画に基づき、提出された決算その他関係書類が法令に適合し、かつ、正確であるか、また、予算の執行状況、会計処理の適否、計数の正否、財産の管理状況等に主眼を置いて検証し、審査を実施しました。

なお、審査に当たっては、決算状況その他を把握できる調書や、事務執行に関する各種帳簿類等審査に必要な書類の提出を求め、必要に応じて説明を受けました。また、審査を効率的、効果的に実施するため、例月現金出納検査など、これまでの監査の結果を踏まえて審査を実施しました。

### 第4 審査の結果

上記のとおり審査した限り、その重要な点において、審査に付された歳入歳出決算、同事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書は、いずれも法令の規定に準拠して作成されており、記載数値については、関係諸帳簿及び証書類と照合の結果、いずれも符合し、正確であると認められました。

なお、決算の概要及びこれらに対する意見については、次に述べるとおりです。

#### 1 決算の概要

##### (1) 総括

予算現額 272 万円（前年度比 14 万円、4.9%減）に対し、歳入の決算額は 270 万 7,813 円（前年度比 1 万 7,241 円、0.6%増）、歳出の決算額は 144 万 5,791 円（前年度比 17 万 8,911 円、11.0%減）で、形式収支は 126 万 2,022 円（前年度比 19 万 6,152 円、18.4%増）となっています。

なお、翌年度へ繰り越すべき財源はありませんので、実質収支も形式収支と同額の126万2,022円の黒字決算となっています。

### 決算収支

(単位：円、%)

区分	年度	6年度 (a)	5年度 (b)	比較増減 (c)=(a)-(b)	増減率 (c)/(b)
予 算 現 額		2,720,000	2,860,000	△140,000	△4.9
歳 入 決 算 額		2,707,813	2,690,572	17,241	0.6
歳 出 決 算 額		1,445,791	1,624,702	△178,911	△11.0
歳入歳出差引額(形式収支)		1,262,022	1,065,870	196,152	18.4
翌年度へ繰り越すべき財源		0	0	0	—
実 質 収 支		1,262,022	1,065,870	196,152	18.4

#### (2) 歳入

収入率は、予算対比99.6%、調定対比100.0%で、歳入の主なものは、寄附金134万220円です。

決算額は、前年度と比較して1万7,241円(0.6%)の増となっています。これは、主に繰越金が増加したことによるものです。

### 歳入状況

(単位：円、%)

区分 款別	予算現額	調 定 額	収入済額	収 入 率		収入済額 構成比
				予算対比	調定対比	
財産収入	10,000	704	704	7.0	100.0	0.0
寄 附 金	1,330,000	1,340,220	1,340,220	100.8	100.0	49.5
繰 入 金	0	0	0	—	—	—
繰 越 金	1,070,000	1,065,870	1,065,870	99.6	100.0	39.4
諸 収 入	310,000	301,019	301,019	97.1	100.0	11.1
歳入合計	2,720,000	2,707,813	2,707,813	99.6	100.0	100.0
5 年 度	2,860,000	2,690,572	2,690,572	94.1	100.0	—
比較増減	△140,000	17,241	17,241	—	—	—
増 減 率	△4.9	0.6	0.6	—	—	—

### (3) 歳出

執行率は、53.2%で、歳出の主なものは、総務費の財政調整積立基金積立金 60 万円、農林水産業費の委託料 45 万円及び報酬 27 万円です。

決算額は、前年度と比較して 17 万 8,911 円 (11.0%) の減となっています。これは、農林水産業費の報酬及び総務費の負担金が減少したことなどによるものです。

#### 歳出状況

(単位：円、%)

区分 款別	予算現額	支出済額	不用額	執行率	支出済額 構成比
議会費	190,000	61,831	128,169	32.5	4.3
総務費	1,030,000	607,900	422,100	59.0	42.0
農林水産業費	1,450,000	776,060	673,940	53.5	53.7
予備費	50,000	0	50,000	—	—
歳出合計	2,720,000	1,445,791	1,274,209	53.2	100.0
5 年度	2,860,000	1,624,702	1,235,298	56.8	—
比較増減	△140,000	△178,911	38,911	—	—
増減率	△4.9	△11.0	3.1	—	—

## 2 財産に関する調書

### (1) 公有財産

土地の年度末現在高は、山林 2,535,996 m<sup>2</sup>で、自己所有としていますが、年度中の増減はなく、立木の推定蓄積量は、611 m<sup>3</sup>増加し、21,053 m<sup>3</sup>となっています。

また、出資による権利の年度末現在高は、松本広域森林組合への出資金 5 万円で、年度中の増減はありません。

### (2) 基金

財政調整積立基金の年度末現在高は、2,062 万 7,691 円で、前年度より 60 万円増加しています。

### 3 監査委員の意見

本財産区の運営は、地区住民からの寄附金が主な財源になっています。そのため、地区住民が「財産区は地区住民の共有財産」との意識の下、大事に守り継ぐ意識を持っていかなければ、財産区の維持管理は難しくなっていくものと思われます。その点で、未来を担う寿小学校の児童を対象に実施している里山体験学習は、長期的視点で森を守ることに資する重要な取組みと考えます。

今後も各種事業を通じて、地区住民が森林の大切さを実感できる機会を設けるように努めてください。